

# コンビネーション356号

f 2、f 7が一番の弱点

函館チェスサークル・インターネット通信  
2017年6月9日発行



函館ブリッツ大会より

oooooooooooooooooooooooooooooooo

## 函館ブリッツ敢闘賞

oooooooooooooooooooooooooooooooo

先週、やっと賞品をお渡しできました。函館ブリッツ大会の入賞者の方は必ずカップを受け取ってください。

カップはいらないという方もいらっしゃいました。確かに一生けん命プレーしていた子供たちにカップをあげたい気持ちはよくわかりますし、場合によってはそれも必要だと思います。しかし、今回の場合は、そうしてゆずってもらっても、どれだけ子供たちがうれしいか疑問だと思います。

いつか、カップをとれなかった子供たちが実力で賞をもぎとる日が来るはずですよ。

ただ、そのチャンスを多くしてあげたいと思いますので、次回、7月1日からの大会はよろしくお願ひします。

なお、決まっていなかった敢闘賞は、審判で協議してかつまた君と工藤せりなちゃんに贈らせていただきました。

oooooooooooooooooooooooooooooooo

## 土曜日のトレーニング

oooooooooooooooooooooooooooooooo

7月東京でおこなわれる全日本ジュニアに渋谷君が出場します。その大会出場に向けて、先週の土曜日午後から山田宅でトレーニングをしました。

チェス教室ではできない長時間のゲームとレクチャー（山田弘平の全国大会ゲームの解説コンビネーション345号の読み合わせ）を行いました。

また、そのときにスカンジナビアン・ディフェンスや、ヴィエナ・ゲームについてもレクチャーができました。有意義でしたし、山田自身に時間がある限り、やっていきたいと考えています。

秘密に行っているわけではなく、当初は渋谷君だけでしたが、スパーリング相手を募集しています。

とくに参加制限はしません。しかし、渋谷君に本気で勝てると思っている者、というのが参加資格と考えています。興味あればご相談ください。

oooooooooooooooooooooooooooooooo

## 小島慎也さんに記事の執筆を依頼！

oooooooooooooooooooooooooooooooo

先ほどご紹介した山田弘平のゲーム解説は非常にレベルが高く、かつ非常に分かりやすい記事だったと思います。

実はいまIM小島慎也さんに記事の執筆を依頼しています。楽しみにしてください！

全国で多くのチェス・ファンがこのコンビネーションを読んでいるというのはよく耳にします。札幌の佐藤さんも読者でした。

これからもがんばりたいと思います。

oooooooooooooooooooooooooooooooo

## 来週6月16日に懇談会

oooooooooooooooooooooooooooooooo

来週6月16日7時半から懇談会を開催します。子供たちはブリッツで交流してもらい、となりの部屋で7月、11月の大会のこと、チェス教室の今後について、保護者、講師の交流をするのが主旨です。お忙しいとは思いますが、お時間あれば参加をお願いします。

## 1. e4 e5 2. Nc3 Nc6



2. Nc3 と相手の様子を見るのがヴィエナ・ゲーム。ヴィエナはオーストリーの首都ウイーンのことです。プロの実践例は少ないですが、面白い定跡だと思います。

## 3. Bc4

ここは分岐点です。

3. f4 (ディレイド・キングズ・キャンビット) が本来のねらいですが、黒には 3... d5! の強力なカウンターがあります。以下 4. fxe5 Nxe4 5. Nf3 Be7 で互角。この変化は重要です。

3. Nf3 Nc6 (フォー・ナイト・ゲーム) は白黒同形になりやすく、互角です。

3. g3!? (キングズ・フィアンケット・バリエーション) は面白い。以下、3... d5 4. exd5 Nxd5 5. Bg2 黒はセンターを重視した展開。それに対して白は安全にカウンターをねらえる陣形で互角。

3. Bc4 は自然な手ですが、黒には大乱戦にもちこむ強手があります。黒がおだやかに進めたいなら 3... Bc5 4. Nf3 d6 5. d3 のジオッコ・ピアニッシモ ともどすところです。

## 3... Nxe4!? 4. Qh5!

黒は突然ナイトを捨てます。ねらいは 4. Nxe4 d5 のポーン・フォーク (黒やや優勢) です。4. Bxf7+ Kxf7 5. Nxe4 d5! でもセンターをおさえた黒がやや優勢です。以下、6. Qf3+ Kg8 7. Ng5!? Qd7! (7... Qxg5?? 8. Qxd5+)

8. Ne2 h6 (Mieses vs. Teichmann 1895 年) これで白のナイトはもどるしかなく、黒やや優勢です。

対する白も、それを無視して、最高に強気の手 4. Qh5!? で応じます。Qxf7# がねらい!

『f2、f7が一番の弱点』

## 4... Nd6 5. Bb3 Nc6 6. Nb5!?

黒 5... Be7!? ならおとなしいゲームでしたが、これで、フランケンシュタイン・ドラキュラ・バリエーションと呼ばれる恐ろしい変化に突入します。もちろんこのナイトを取れば 6... Nxb5 7. Qxf7# ですぐに終了です。

## 6... g6 7. Qf3 f5! 8. Qd5 Qe7 9. Nxc7+ Kd8 10. Nxa8

これで白が勝ったようにみえますが、展開でまさる黒はおそろしい反撃を用意していました。

## 10... b6! ∞ (形勢不明)



次に Bb7 とされると白の a8 ナイトが取られるだけでなく、へたをするとクイーンも死んでしまいます。こうなるとコンピューターで解析しても結論が出ない大乱戦です。

ここまでの変化は教養として覚えておきましょう。以下、黒が勝ったプロの実戦例です。

11. Nf3 Bb7 12. d4 Nxd4 13. Bg5 Nxf3+ 14. Qxf3 Qxg5 15. Bd5 Bxd5 16. Qxd5 Qf4 17. 0-0 Qe4 18. Rad1 Kc8 19. Rfe1 Qxd5 20. Rxd5 Kb7 21. Nxb6 axb6 22. Rdxg5 Kc6 23. b3 Bg7 24. Re7 Bf6 25. R7e3 b5 26. Rd1 b4 27. Red3 Be5 28. g3 Ne4 29. Rxd7 Bd6 30. Rf7 Bc5 31. Rf1 Rd8 32. Rxh7 Nxf2 0-1

Kuzin vs. Afromeev 2006 年